

令和 2 年度 L2-Tech に関する設備・機器等の募集（重点技術分野提案について）

募集概要

1. 本募集の目的

「地球一個分」という環境制約の下、大量生産・大量消費型の社会から脱却し、2030 年までに 2013 年比 26%の温室効果ガス排出削減を実現するためには、エネルギー起源二酸化炭素の排出が極めて少ない大胆な低炭素技術の普及・導入を進める必要があります。

本事業では、先導的(Leading)な低炭素技術(Low-carbon Technology) = L2-Tech (エルツーテック)をあらゆる部門において分野別にリスト化・発信し、技術を導入する際の参考としていただくことを通じて、当該技術の普及の強力な推進を目指しています。

そこで、L2-Tech のリスト化を効率的に進めることを目的として、国として取り上げることができていない幅広い分野の先導的かつ大幅な CO2 排出削減が実現可能な技術に関して、民間企業等からの積極的な募集を求めます。

2. 募集内容

(1) 募集の概要

L2-Tech リスト(以下、リスト)または L2-Tech 水準表(以下、水準表)に掲載されていない情報や、見直しが必要な情報の募集を行います。提案のあった設備・機器等に関する情報の中から、環境省がリスト及び水準表に掲載する情報を選定します。

なお、リスト及び水準表に掲載される情報は、L2-Tech 認証制度に活用します。また、環境省事業での活用を検討しています。

(2) 募集対象

本募集では、L2-Tech 対象となる設備・機器等(カテゴリ)の候補について、以下のア)～エ)のいずれかに該当する提案を募集対象とします(特定の製品やサービスは本募集の対象ではありません)。

募集対象 区分	概要
ア)リストへの新規追加または更新	リストに掲載されていない設備・機器等、または、リストに掲載されている設備・機器等の関連情報(区分、原理・しくみ、設備・機器等の名称)
イ)リスト及び水準表の新規同時追加	リスト及び水準表に掲載されていない設備・機器等の評価指標(試験条件・計算方法・測定単位)、及びクラス
ウ)水準表への追加	リストには掲載されているが、水準表に掲載されていない設備・機器等の評価指標(試験条件・計算方法・測定単位)、及びクラス
エ)水準表の更新	水準表に掲載されている設備・機器等の新たな評価指標(試験条件・計算方法・測定単位)

(3) 募集対象事業者

募集対象となる設備・機器等を製造または販売している日本法人等

3. L2-Tech の選定

(1) 評価・選定方法

一般公募により提案を募集します。提案情報に対して評価を行い、その結果に基づき環境省がリストや水準表に掲載する設備・機器等の選定を行います。また、その結果については、リストや水準表に反映した上で公表します。

なお、評価は、原則として、提出資料及びヒアリングにより実施します。

(2) 評価項目

提案内容は、原則として以下の評価項目に基づき評価を行い、総合的に適合すると判断されたものについて、環境省が選定を行います。

(2-1) 募集対象ア)の評価項目

以下の①～③全てを満たす情報であること。

- ① 国内の住宅・事業場・工場等において、導入可能な設備・機器等(部材、設備・機器、システム)であること。
- ② 大幅な CO2 排出削減効果が期待できることを科学的に説明可能であること。(従来の設備・機器等と比較し、エネルギー効率の向上ではなく、エネルギー需要を制御可能なしくみとすることにより利便性や効用を維持しつつ CO2 排出削減を実現可能な設備・機器等も含む)
- ③ 2030 年までに自立的な普及が見込める設備・機器等であること。

(2-2) 募集対象イ)・ウ)・エ)の評価項目

以下の④～⑦全てを満たす情報であること。

※ただし、募集対象イ)については前述の評価項目①～③にも適合する必要があります。

- ④ 当該設備・機器等の性能を測定するための単位が、CO2 排出削減効果を代替するものであること。(エネルギー効率以外の測定単位も含む)
- ⑤ 性能を測定する際の試験条件について、公平性が確保されていること。
- ⑥ 性能の測定する際の計算方法について、公平性が確保されていること。
- ⑦ 当該設備機器等の能力や機能等について、導入者や利用者における購買の選択条件に基づいたクラスが設定されていること。

(3) 評価・選定結果の通知

リストまたは水準表への掲載可否に関わらず、選定結果を提案者にご連絡します。提案された情報がリストまたは水準表への掲載対象とならなかった場合は、理由を付してご連絡します。

4. 提案方法等

(1) 提案の募集期間

令和2年(2020年)5月29日(金)～9月30日(水)17:30までとします。なお、10月以降の募集受付については、後日公表の予定です。

また、提案の提出にあたっては以下の点についてもご注意ください。

- (i) 募集期間外に提出された提案は評価対象外とします。
- (ii) 募集期間中・募集期間外に関わらず、原則として一度提出された提案内容の変更はできません。
- (iii) 提出資料の不足がある場合や提案内容に空欄が多く十分な評価ができない場合は評価対象外とします。

(2) 提案の提出先・問合せ先

2020年度 L2-Tech 事務局

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パブリックセクター(担当:大南・石津)

TEL: 080-3458-1206(受付時間:平日 9:30～17:30 まで)

E-mail: l2-tech@tohmatu.co.jp

(3) 提案方法

提案にあたっては、以下の所定の提案資料を作成し、その一式を E-mail にて事務局に提出してください。提案シートならびに申請者用セルフチェックリストは、環境省ウェブサイトに掲載の本募集の報道発表ページ(<http://www.env.go.jp/press/108057.html>)から入手してください。

(3-1) 提案シート

所定の提案シートに提案内容をご入力ください。シートは3種類で構成されており、募集対象ア)～エ)のいずれかに応じて作成するシートの種類が異なります(次頁の表を参照)。また、提案1件にあたり提案シート一式の提出を求めます(提案者1者につき複数の提案件数となる場合は、提案毎に本提案シートを作成し提出してください)。

なお、提案シートの作成にあたっては、別紙の記入例を参照してください。また、記載内容に虚偽が判明した場合は、リスト及び水準表の掲載対象外としますのでご注意ください。

(3-2) 根拠資料

上記の提案シート2およびシート3を作成する際に根拠とした資料(以下、根拠資料)を作成してください。また、募集対象や提案件数に関係なく、提案者1者につき根拠資料が重複する場合は、根拠資料の共通化が可能です(例:提案シートの「L2-Tech 選定の観点」や、「指標」及び「クラス」の根拠資料がカタログ等で一本化できる場合は、同内容のカタログを複数提出していただく必要はありません)。

なお、ご提出いただいた根拠資料は、本募集の提案評価のみに使用します。

(3-3) 申請者用セルフチェックリスト

上記(3-1)及び(3-2)の作成が終了した提案者は、本チェックリストを完成し、提出内容に不備がないか確認してください。

募集対象 区分		提案資料							申請者用 セルフ チェック リスト
		提案シート			根拠資料				
		シート1 (提案概要)	シート2 (L2-Techとな る設備・機器等 の提案)	シート3 (L2-Techの 評価方法に 関する提案)	シート2/ L2-Tech 選定の 観点	シート2/ 当該設備・ 機器等の CO2削減タ イプ	シート3/ 指標	シート3/ クラス	
ア)	リストへの新規 追加または更新	○	○	×	○	○	×	×	○
イ)	リスト及び水準表 の新規同時追加	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ)	水準表への追加	○	×	○	×	×	○	○	○
エ)	水準表の更新	○	×	○	×	×	○	○	○

5. 留意事項等

本募集は、令和2年(2020年)12月頃予定のL2-Tech認証の製品情報の募集とは異なります(L2-Tech製品の認証実施については、環境省ウェブサイトで別途案内予定)。したがって、今回ご提案いただいた設備・機器等が水準表へ掲載された場合であっても、必ずしもL2-Tech認証制度の認証対象となるものではありません。

また、ご提出いただいた各種資料は機密情報として取扱い、本評価及び選定の関係者以外への開示は行いません。

以上